

第 38 回 日中社会学会 年次大会

日中社会学会

共催：島根県立大学

石見地域文化国際ラボ推進室

日時：2026年6月6日（土）、7日（日）

島根県立大学 浜田キャンパス 〒697-0016 島根県浜田市野原町 2433-2

※ 開催は浜田キャンパスです。お間違えないようにお願いします。

大会実行委員長：島根県立大学 中村 圭 理事

実施方法：対面 / オンライン（シンポジウムのみ）自由報告は対面のみになります。

◎大会参加費

一般会員 2000 円 / 学生会員 1000 円 / 非会員 2000 円（当日に入会すれば会員価格適用）

*参加費と懇親会費は当日受付でお支払いください。学会年会費の支払いも同時に受け付けます。

年会費：一般 9000 円、学生会員、シニア会員、常勤職でない会員 6000 円

※ 2025 年度より年会費が改定されました

・シニア会員：原則として 10 年以上一般会員として在籍し、常勤職を退職された方

◎懇親会会場・参加費

日時：6月6日（土）17 時 50 分より

会場：島根県立大学 学生会館 カフェテリア

参加費：一般 4000 円 / 学生 3000 円 / 非会員 5000 円

◎参加エントリー（報告者の方もお願いします）

[日中社会学会 第 38 回 年次大会 参加者 エントリー](#)

■会長／開催校あいさつ

第 38 回大会開催にあたって

日中社会学会 会長 中村 圭

第 38 回大会実行委員長

（島根県立大学）

日中社会学会第 38 回（2026 年）大会を、2026 年 6 月 6 日（土）・7 日（日）の両日、島根県立大学浜田キャンパスにおいて開催できますことを、大変嬉しく思っております。日中社会学会第 10 代会長として、全国ならびに中国からご参加くださる会員の皆様を島根、石見の地にお迎えできますことを、心より歓迎申し上げます。

本学での日中社会学会大会の開催は、2006 年の第 18 回大会以来、ちょうど 20 年ぶり 2 度目となります。当時は、故・中村則弘会長のもとで開催され、今岡日出紀先生による「北

東アジア研究のための三つの視角」と題する特別講演が行われました。島根県立大学は当時、北東アジア研究の拠点として全国的に注目を集めており、第18回大会の開催もその学術的蓄積の延長線上に位置づけられるものでした。それから20年の歳月を経て、当時、本学に在籍されていた先生方は各地の大学で活躍され、現在の日中社会学会の中核的ネットワークを形成しています。今回の大会は、そのような歴史の継承の上を実現するものであり、深い感慨を覚えております。

「十年河東，十年河西（十年もあれば、川の流れさえ向きを変える）」といいますが、この20年間で、私たちを取り巻く社会環境は大きく変化しました。北東アジアにおいては、ナショナリズムの高まりや国際関係の緊張がみられる一方で、人々の往来と交流はかつてない規模で進展しています。日本国内に居住する中国ルーツを持つ人々は大幅に増加し、また中国に限らず世界各地から多様な人々が日本社会の各地域で生活し、地域経済や社会を支える重要な存在となっています。

島根県は、全国に先駆けて人口減少と高齢化に直面してきた「過疎先進地域」ともいえる地域です。しかし同時に、地域外から継続的に関わる人々を意味する「関係人口」の議論や、外国人住民との共生を通じて、新たな地域社会のあり方を模索している最前線でもあります。今回の大会では、こうした時代状況を踏まえ、「家族」「ジェンダー」「多文化共生」「関係人口」を主要なキーワードとして二つのシンポジウムを企画いたしました。

第1のシンポジウム「関係人口と地域の再編——多文化共生社会への展望」では、関係人口論を出発点として、人口減少社会における地域の開放性と多文化共生社会の可能性について議論します。基調講演には、「関係人口論」の第一人者であり、石見地域のご出身でもある田中輝美先生をお迎えします。田中先生の著作は韓国語にも翻訳され、東アジアにおいて広く注目されています。第2のシンポジウム「中国の家族の周辺をめぐって——公共圏と親密圏のあいだ」では、中国社会における家族の変容を、恐婚・恐育、LGBTQ、疑似親子関係などのテーマから検討します。

多文化共生社会のあり方については、メルティングポット型、サラダボウル型、パッチワーク型など、さまざまな社会モデルが提起されてきました。最新の多文化共生研究は、文化の固定的な共存モデルから、動的、流動的で超多様な主体が日常的な相互作用を通じて新たな関係と帰属を形成し、地域社会を共創していく Conviviality（共生実践）や関係性重視のモデルへと発展しています。文化的背景の異なる人々が互いの違いを尊重しながら協働することは、新たな社会的価値を創出する「社会イノベーション」の源泉でもあります。本大会が、日中両国の比較社会学を通じて、そのような未来社会の姿を展望する機会となることを願っております。

また、本大会は島根県立大学大学院および石見地域文化国際ラボ推進室との共催で実施されます。懇親会では、石見地方を代表する伝統芸能である石見神楽をご覧いただく予定です。石見地域には130を超える神楽社中があり、神楽は祝いの席や地域行事に欠かせない存在として、人々の生活に深く根づいています。今回は、浜田市金城町の久佐西組神楽社中の皆様をお招きし、勇壮な「大蛇」を披露していただきます。久佐西組神楽社中は、毎年京都祇園祭宵山にて、八坂神社に神楽を奉納している歴史ある社中です。石見神楽には日本神話に加え、中国文化との歴史的つながりを感じさせる要素も多く、日中社会学会の懇親の場にふさわしい演目となることでしょう。

石見地方には、石見銀山遺跡をはじめとする豊かな歴史文化資源があり、浜田港で水揚げされる新鮮な魚介、日本酒、温泉、豊かな農産物など、島根ならではの魅力にもあふれています。学術的な議論とあわせて、この地域の文化と風土と海の幸山の幸も存分に味わっていただければ幸いです。

本大会では、二つのシンポジウムのみハイブリッド形式での配信を予定しております。多くの皆様にご参加いただき、活発な議論と交流が生まれることを心より願っております。石見の地で皆様とお会いできますことを、今から楽しみにしております。

大会スケジュール

| 6月6日(土) | | 6月7日(日) | |
|-----------------------|-------------------------------------|----------------------|------------------------------------|
| | | 8:30 | 受付 |
| 12:00-12:45 | 理事会 | 8:45-10:30 (105分) | 自由報告Ⅱ セッションF・G・H・I・J *途中9分休憩 |
| 12:30 | 受付開始 | 10:30-10:40 | 休憩 |
| 13:00 | 開会式 | 10:40-11:40 | シンポジウムⅡ前半(ハイブリッド) |
| 13:10-15:20 (130分) | 自由報告Ⅰ セッションA・B・C・D・E *途中10分休憩 | 11:40-12:10 | 休憩、昼食 |
| 15:20-15:30 | 休憩 | 12:10-13:40 | シンポジウムⅡ後半(ハイブリッド) 閉会式 |
| 15:30-17:30 | シンポジウムⅠ(ハイブリッド) | 13:45~ | 大学一石見空港へ(東京/20人まで) |
| 17:30-17:45 | 総会 | | |
| 17:50-20:30 | 懇親会(カフェテリア) 石見神楽 上演 | | |

自由報告の詳細は別紙参照

ご注意

*自由報告における報告時間変更のお願い

自由報告の募集要項では、「発表20分・質疑応答10分」としておりましたが、応募者多数のため、1名あたりの持ち時間を「発表15分・質疑応答9分」に変更させていただきます。何卒ご理解・ご了承のほどよろしくお願い申し上げます。

6月6日(日) 15:30~17:30

シンポジウムⅠ(学会企画)

「関係人口と地域の再編——多文化共生社会への展望」
(企画：中村圭)

人口減少と高齢化の進行は、日本および中国の地方社会に共通する構造的課題である。とりわけ過疎地域においては、若年層の流出が継続的に進む一方で、近年は技能実習生や留学生、就労を目的とした外国人など、多様な背景をもつ人々が流入するという、流出と流入が交錯する動的な人口移動が生じている。こうした状況は、従来の定住人口中心の地域社会像を揺さぶり、地域の担い手や共同性のあり方を再考する契機となっている。

このような文脈において、「関係人口」は重要な視座を提供してきた。地域外に居住しながらも継続的に関与する人々の存在は、過疎地域に新たな関係性と資源をもたらし、地域社会の持続可能性を支える基盤となりうる。本シンポジウムでは、この関係人口論を理論的基盤として位置づけつつ、その射程をさらに拡張し、現在進行している人口移動の複層性を捉え直すことを目的とする。

すなわち本企画では、国内的な関係人口に加え、越境的な移動を伴う外国人住民や滞在者、さらには短期・中期的に地域と関わる多様な主体を含めた広義の関係性に着目する。過疎地域はもはや閉じた共同体ではなく、断続的かつアドホックな関与が重なり合う「開かれた場」として再編されつつある。本シンポジウムでは、日本と中国の地域再生政策や人材循環の事例を比較しながら、こうした多層的な関与の実態とその意味を明らかにする。

さらに、こうした人口移動の変化は、地域社会における文化的多様性の拡大をもたらす。本企画では、関係人口の広がりや、単なる労働力補完や地域活性化の手段としてではなく、多文化共生社会への移行過程として捉える視点を提示する。異なる文化的背景をもつ人々が地域に関与するなかで、どのような協働が可能となるのか、またどのような摩擦や調整が必要とされるのかを検討することは、今後の地域社会のあり方を構想するうえで不可欠である。

以上を踏まえ、本シンポジウムでは、関係人口論を出発点としつつ、その先にある越境的かつ多文化的な地域社会の可能性を展望する。事例を通じて、人口減少社会における持続可能な過疎地域モデルを提示するとともに、地域社会を多様な主体が交差する動的な関係性として再定義し、未来を見据えた地方の多文化共生社会のありかたを議論する。

講演・報告者とタイトル

I部：特別講演

田中輝美（島根県立大学）：「関係人口論の現在地」

II部：シンポジウム

中村圭（島根県立大学）：「過疎地域はいかに「開かれる」のか

—島根におけるジェンダー秩序・外国人労働・医療実践からみるダイバーシティ&インクルージョン—

逢軍（京都橘大学）：「走る記憶」を未来へつなぐ地域実践—近江鉄道をめぐる鉄学連携と関係人口形成—

川村潤子（日本福祉大学）：「在日中国中華料理店におけるエスニシティの維持と変容 — 日本社会への適応に着目して —」

司会：唐燕霞先生（愛知大学）

コメンテーター：西原和久（名古屋大学・成城大学）

6月7日（日）10:40～13:40（途中食事休憩あり）

シンポジウムII（学会企画）

「中国の家族の周辺をめぐって——公共圏と親密圏のあいだ」

（企画：坂部晶子）

公私領域の分化と家庭の親密圏への特化は、近代の特徴的な事象であるとして論じられてきた。世界中の社会で、男性と女性の役割分業は行われてきたと想定されるが、近代化によって公私領域が分離し、家族が生産主体ではなく私的な親密圏として囲い込まれ、そこで男性は公的領域へ、女性は私的領域へと役割分業がおこなわれるようになったとするのが、近代家族論の要諦であった。こうした近代化の経路は、資本主義社会の近代化をモデルとし

ており、中国をはじめとする社会主義社会の近代化の経路は、こうした路線とは異なる側面があったとする研究も存在する。本シンポジウムで問題にしたいのは、資本主義的社会とは異なる社会主義的近代化という経路を想定し、家族や親密圏にかかわる領域のテーマを検討することをおして、中国における公私の分離や、公共圏と親密圏の関わりについて対象化することを目的とするものである。

報告者とタイトル：

孟令齐（一橋大学）：「クローゼットの再構築——性的マイノリティの再生産実践からみる現代中国の親密圏/公共圏の交差」

奈倉京子（静岡県立大学）：「『国家』と『家族』のあいだの変容——慈善の歴史から問い直す現代中国の『新しい社会性』」

磯部美里（日本福祉大学）：「擬制的親子関係からみる親密圏の柔軟性——中国西双版納タイ族社会の事例から」

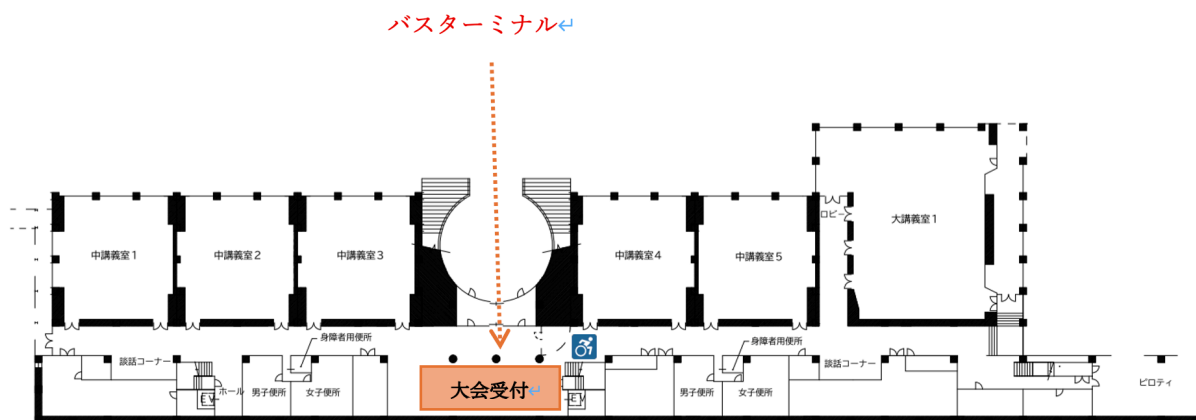
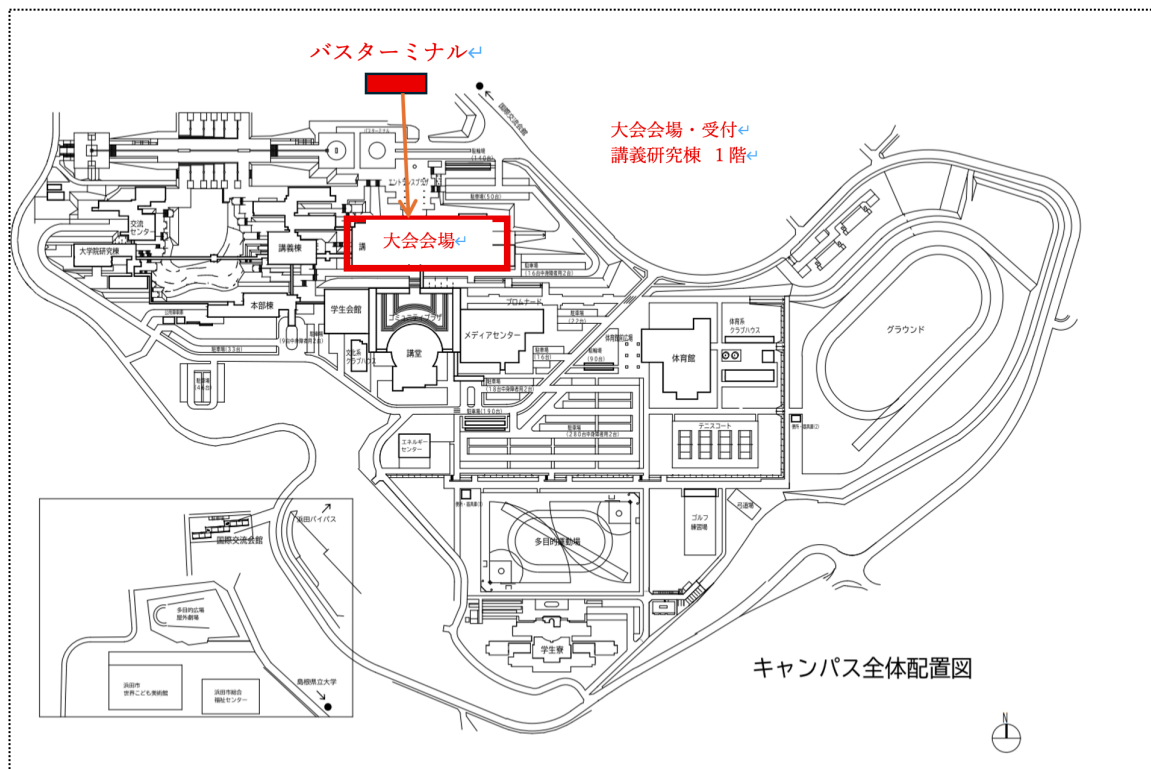
司会：劉罡（愛知大学）

コメンテーター：南裕子（一橋大学）、坂部晶子（名古屋大学）

会場案内

島根県立大学浜田キャンパス 島根県浜田市野原町 2433-2

最寄駅 山陰本線 JR 浜田 駅より石見交通バス 3大学線 で：大学前（約 15分）



講義・研究棟 1階平面図

- ※ 大学付近には、週末に営業している売店、コンビニ等がありません。
- ※ 2日目の昼食は、あらかじめご準備、もしくは大会受付時にお弁当配達のご希望をお伺いさせていただきます。

大会会場へのアクセス

<https://hamada.u-shimane.ac.jp/campus/hamada/access.html>

(往路)

・東京から

ANA725 羽田 8:50 発 - 萩・石見空港 10:25 着

6月6日(土) 午前便には空港-大学へ送迎バスを運行いたします(20名/約1時間) - 12時頃大学着

※ 座席に限りがありますので先着順とさせていただきます。

空港から浜田駅へはリムジンタクシーをご予約ください。

萩・石見空港リムジンタクシー TEL: 0855-23-1186

・広島から

高速バス いさりび号 広島発 9:00 発 - 浜田着 11:20

10:35 発 - 浜田着 12:55

13時過ぎに 駅前から大学まで送迎バス運行予定

・出雲から

スーパーまつかぜ 出雲市 9:07 - 浜田着 10:20

スーパーおき3号 出雲市 11:39 - 浜田着 12:49 駅から大学までバス 15分

(復路)

・東京へ 大学発 15:00 - (途中、観光スポットへ案内予定) - 17:00 頃

送迎バス(先着順 20名/約1時間) - ANA728 萩石見空港 18:15 発 - 羽田着 20:00

・広島へ

長距離バス いさりび号 浜田駅発 14:40 - 16:58 広島駅着

15:50 - 18:08

17:00 - 19:18

・出雲へ

浜田駅発 15:08 - 出雲市 16:17 着 (空港バス約45分)

祝你一路顺风 どうぞお気をつけてお越しくださいませ。

懇親会で上演予定の石見神楽 演目「大蛇(おろち)」約30分



<https://iwamikagura.jp>